

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	市役所条里南庁舎 講堂
日 時	令和6年6月18日（火） 18：30～20：00
参加者数	57名

No.	項目	内容	市長の発言
1	議会	議会初日、小学生が傍聴していたが、市職員の不祥事について市長の謝罪から始まった。小学生が見に来るときは、時間や日付をずらすなど配慮が必要と感じた。また、前回も同じだったと聞き、市職員は改善するという意欲が足りないと思った。	小学生の前で挨拶の後に謝罪をすることは、私自身が一番辛い。その姿を見せしてしまうことで、次の市長を志す人がいなくなってしまうというのもよくないので、大人の生き生きとハツラツとして頑張っているリーダーの姿を見せたいと思っている。本来であれば、どの時間に小学生が来ようが、恥ずかしくない大人の議論を見せたいところである。今回のような無様な状況にしてしまわないように我々は気を付けなければならないし、いろいろなところに思いを巡らせて配慮して行動していく。また、改善に繋げていくというのは、どの場面でも常にあるべき姿と思う。
2	かまくら館	市役所の傍にあり、年中かまくらを見ることができ、物産もあるかまくら館のことをもっと宣伝するべきと思う。また、来訪者向けの説明担当者を配置するなどサービスを築くべきと考える。	昔から、増田のまんが美術館、かまくら館、横手城を様変わりさせようという思いは抱いている。また、新規に通年でかまくらを見ることができる施設を建設しようとする、リコールされると思う。政治的にも作り難いものが既に存在しているというのは、まさに横手市にとっては宝であり、これを活かさない手はないと強く思っている。ただ、まだかまくら館までは辿り着けていない。思いは共有できているので、もうしばらく待っていただきたい。
3	人口対策	発表内容だけの取り組みでは対策は厳しいと考える。千葉県流山市、茨城県境町、宮崎県都城市は非常に熱心に人口対策に取り組まれている。実際に取り組みを行っている市町村を視察し、人口が増えている所の取り組みを確認するべきである。	現状取り揃えている政策のみで何とかなる問題ではないということは承知している。様々な成功している取り組みを勉強させていただいており、地域柄や地政学的な有利等、その自治体それぞれの成功しているところを活かしながら、その地域ならではの、人口の増加、少子化の解消というものに繋がっていると思う。お話にあがった3自治体には、人口の問題じゃない理由でも勉強にお伺いしたことがある。現地に行かなければなぜその政策が可能になったのか、説明やインターネットの情報だけでは拾えない部分もあり、横手市も横手市流の地の利を活かした政策を生み出さないといけないと思っている。
4	よこてWARP	ふるさと村までの送迎となっているが増田に住んでいる方や湯沢市民なども使用することはできるのか。	湯沢市の方も乗車いただいて構わない。ただし、横手市までしか送り届けられないので、そこからはご自身での移動となってしまふ。人数制限はあるが、誰でも利用していただいて大丈夫という度量を持って受け止めさせていただく。
5	片野重脩氏の政治の継承	横手市にも多大なる貢献を果たし、素晴らしい政治家であった片野重脩氏の胸像をAo-naに設置し、政治を継承していく必要があると考える。	片野重脩氏は素晴らしい政治家であり、尊敬できる歴史上の人物である。だからこそ片野家をもらい受けることができるよう歴史的風致維持向上計画や歴史文化遺産保存活用地域計画など計画の整備をしてきた。そして今、横手片野家を正々堂々と寄贈いただくことができた。片野家、片野重脩さん自身も素晴らしい方であり、その建物も十分文化財に値するということで、今後建物を町並み、歴史とリンクさせて実際にいた偉い先人なので、教育、子どもたちに伝えるという部分や、観光での発信という部分も含め、継承してまいりたい。また、人間教育のどのように生きるかという部分でも素晴らしい模範にもなるような人でもあるので、そういったいろんな意味で効果があると思う。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	大森地区交流センター 視聴覚室
日 時	令和6年6月19日（水） 18：30～20：00
参加者数	37名

No.	項目	内容	市長の発言
I	大森病院	今後の大森病院の存続について、方向性を伺いたい。	私が市長でいるうちは絶対なくさないという気持ちでいる。ただ、やはり経営は苦しく、患者さんの数も少なくなっている。リモート診療等新しい取り組みを行っており、田舎の地方病院としてはある程度先進的かつ模範となるような姿勢を示させていただいている。 横手には平鹿病院、横手病院、大森病院の3つの大きい病院があり、それぞれ得意不得意や特性があるので、横手市管内でここがかち合うことがないよう、すみ分けをしており、病院なりの個性を活かしながらやっている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	増田地区多目的研修センター
日 時	令和6年6月20日（木） 18：30～20：30
参加者数	44名

No.	項目	内容	市長の発言
1	減税政策	人口減少対策として企業誘致があると思うが、企業に対して減税する方策は考えているか。 他の地域と少しでも差別化するためには、横手市に居たら税金が安いというのも一つの魅力となると思うが、考えをお聞かせ願いたい。	・既に法人税の減免をさせていただいている。どの程度雇用をいただけるかなどの条件設定はあるが、減税というよりは、資金的な支援や設備投資に対する支援を行っている。 ・他の自治体と比較しても、誘致合戦になったときに競り負けない体制ではいる。しかし、今誘致させていただいている企業は横手市の人件費・土地代が安いからという理由ではなく、戦略的に横手に拠点を設けることで発展できるという目論見を立てて来ていただいている。
2	増田地域の 宣伝	増田はすごく魅力的な町だが、通過していくお客さんが多く宣伝が非常に弱いと感じている。 市町村合併をしたが、まだバラバラでお互い何をやっているか分かっていないのではないか。 観光都市として、これからますますやっていくためにどんな作戦を持っているのか伺いたい。	・歴史が長ければ長いほど、また地域に自信と自尊心、プライドがあればあるほど、自分の町の名前を残したいという気持ちが強い。ただ、観光客は横手だろうが湯沢だろうが来たその場所に魅力があれば地名がどうであれ楽しんで喜んでいただけると思う。 ・横手市に住んでいる皆様がもっと連携し、お互いの良いところを紹介し合えるくらいの度量を持てばもう少し観光客目線の横手市に仕上がっていくと考えている。 ・アンケートをとり客観的な意見を伺い、観光客を喜ばせるに資する地域としてやっていくべきと考えている。また、横手市内だけでなく近隣自治体とも繋がりを持ってやっていこうと思っている。
3	かまくら	昨年からかまつりのボランティア通訳として入ったが、毎年行っている行事なのにギスギスしてスムーズではないと感じた。これから観光をどうやってやっていくのか、横手市としてお互い連携を持てはどうか。	今回は雪が極めて少ないことや、長いコロナ期間を経てかつての流れとは違った状態であったことからもう一度仕切り直しということでやらせていただいた。ご意見もしっかり観光協会には伝えたいと思う。
4	企業が求める人材	企業が必要としている人材を周知できているか。 横手市から転出させないための方策の一つと考える。 子どもたちが自分の能力を知ってもらうために情報交換をしたり、企業を訪問したり将来に備えたことをしてあげることも必要と思う。	教育という面では、現状十分企業の求める人材に答える子が採用されている。 これまでは優秀な子どもたちを受け止める器が不足していた。これから、更に大型企業がくるにつれ、獲得競争・技術競争も激化し、磨かれていく場所になると思う。 教育こそ地域にとっての宝であり、社会そのものの礎だと思っているので、今後も将来を支える人材を磨いて大事に育てていきたい。
5	子育て支援センター	子育て支援センターが来年度減るという話を聞いたが、特にアンケートもなく、誰も知らないままなくなるという話を聞き戸惑いがある。何とか残してほしいし、いきなり沢山減らすのではなく少しずつ減らしてほしい。	お知らせをしていなかった、届いていなかったとすればご心配をおかけし、大変失礼した。 これまで場所がバラバラだったという部分で、設置をしても十分力を発揮できないような場所や、成果が見えづらい場所など質に反省があった。 支援センターは若干遠くなってしまうが、今までよりも充実したサービスを提供できるのでご理解をいただきたい。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	増田地区多目的研修センター
日 時	令和6年6月20日（木） 18：30～20：30
参加者数	44名

No.	項目	内容	市長の発言
6	市議会議員	相談をしたく連絡を取ろうとしたが、電話番号も載っていない方もいて連絡が取れない。 市議会議員が26人は多いのではないかと思います。	市議会議員に連絡がつかない場合は、市長直属の秘書広報課にご連絡・ご意見等をいただきたい。 市議会議員について、来季から4名の定数削減という形で議会も判断していることをお知らせする。
7	バス時間	JRを利用して関東圏等から増田に来る場合、バス時間が合わず日帰りができない。	ご意見は羽後交通にもお知らせさせていただく。
8	水道事業	水道事業は地方公営企業として税金ではなく、水道料金で独立採算を基本として運営していると思う。 人口減、高齢化に伴い、水道料金の収入が減っている中で、良質な水道事業が永続的に健全に行われていくのか。 安全管理の面で、極端な話、第三者から毒物混入をされてないかなど、そのようなところも管理されているか。 民間に委託し始めている市町村もあると聞いたことがあるが、安心安全の水を提供するのは市の直営であってほしいと願っている。これを永続的にやっていく中で、水道料金が高くなることはないか知りたい。	・おっしゃる通り企業会計で、皆様からいただいた水道料金で水道事業が運営されている。現状は、民間事業者に委託すると人件費分今より経費がかかってしまうので、公営でやり続けた方が料金は安く抑えられている。 ・もちろん最高水準の水道の品質を維持しているということをお知らせさせていただく。 ・水道料金を値上げしなくてもいいよう創意工夫を頑張っており、心配な場所を解消するのを優先とし、掛かり増しする施設を統合してコストを削減して今はしのいでいる。また、工業団地も現在、すべての水道を利用いただけるほど企業に来ていただいたので、そこからも水道料金を回収できる。
9	市内小中学校の部活動	出生率・出生数の低下から学校の統廃合がさらに進んでいくのではないかと考える。小規模校だと、部活動の選択肢が少なくなり、将来運動部がほぼ無くなってしまうのではないかと危惧している。市長の意見を伺いたい。	これからは統廃合や新しい校舎を建設というのは厳しいと考えており、このまま少子化が回復しなければ、学区再編等で乗り切るしかないと考えている。 部活動については、他の中学校と合同でやるとか、外部のクラブチームに入るとかそのような手段も考えなくてはいけない現実があると思っている。 学校の部活というのは人間を育む教育の現場としても教育という意味合いでの価値もあると思っており、全部外部のスポーツクラブにお願いするというふうには思いたくないという個人の意見もあるが、教育委員会には思いもしっかり伝える。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	Y2ぶらざ オープンスペース
日 時	令和6年6月22日（土） 10：30～12：15
参加者数	28名

No.	項目	内容	市長の発言
1	20周年記念事業	来年で市町村合併から20年が経つので、20周年大祭典を行うことで、市民総参加でこのイベントを成功させ、町の賑わいを作り、活性化を図っていくきっかけになると思う。	開催方法や場所は別として20周年事業を行うと宣言させていただく。 10年前より賑賑しく、他所からきた方にも、横手は元気あるな、20年もあればこの通り良い方向で様変わりするんだなと思っていただけるような、明るいものができればよいと思う。
2	横手川	かつて横手川の大改修を行った頃と比較して廃れている状態である。最近ではクリーンアップもできない状況が続いており、県には現状を訴えていく必要があると思う。	横手川に限らず水位が低く、あそこまで樹木が育っていると洪水が起きた際に木が水をせき止めオーバーフローしやすくなるという危険な状態にあるという認識はある。 適正な管理を常にしておかないといくら堤防が強靱化されていてもその中の河川があのある様では安全度は下がるので、県の方には引き続き伝えていきたいと思う。
3	文化財	横手市には金沢資料館や雄物川資料館など外からくるお客様を迎えるのに非常に良い材料が揃っている。そのような施設が一堂に集められて見れるような施設がせひほしい。	私もそのような施設を作る希望はあり、諦めてはいないが現状できる状態にはない。
4	小学校の統廃合	これから旧横手市以外は統廃合を進めて行く予定があるのか。	私は教育委員会ではないので感想的な意見になってしまうが、学区再編等を全く考えないと言っている状況ではなくなったが、学校の統廃合等ハード事業は無理な状況にあると思う。
5	少子高齢化	これから高齢化が進んでいく中で、介護する側も年齢が上の方が多くなってきて若手が少なくなっているが対策はあるか。 横手市が一番福祉に力を入れていることはなにか。	・介護の省略化や技術も上がってきており、体を洗ったり、体を起こしたりする部分も自動化されてきて、市の施設でもそのような優れた機械を導入している。自動化できるものは自動化しながら、回復させられるものは回復しながら少しずつのいでいく。 ・これから高齢化のステージにもうまく対応して乗り切って、そのノウハウを海外に売ったり、ビジネスに変えたりしてこれまでの介護医療の苦しみを富に変えていきたいと考えている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	浅舞地区交流センター 多目的ホール
日 時	令和6年7月1日（月） 18：30～20：15
参加者数	35名

No.	項目	内容	市長の発言
1	いじめ	昨年の市政懇談会雄物川会場でいじめの話があり、今後勉強して取り組んでいくという話があったが、具体的にどのような取り組みを勉強したか伺いたい。 いじめの一時停止を目的とした第三者が介入できる仕組みがある自治体もあるが、横手市ではそのような独自のいじめ対策はあるか。	いきなり小学校に入学し初めて一人一人の個性を時間をかけて見出すのは先生方も間に合わないので、幼少期の時点から横手市では教育委員会が関わって、保育園、幼稚園にいた子が小学校にスライドする際に衝突が起こりづらいように、未然に一人一人の特性・個性を知っておくという取り組みをしている。 未然に起こりうる衝突に備えるということは以前よりはできていると思うが、これはやってみないと分からない状況である。
2	引きこもり	引きこもりの方の相談を受けたり、具体的な対応があったりすれば教えていただきたい。	子どもが減少しており、先生は十分いる状況なので、以前より見える目配り、気配りができていると思う。今まで以上に、子どもたちの特性に応じた対応が必要になると思う。 何とか解消できたという例も集めて、引きこもりの方々の実態を知ることでも大事であり、本当の話を吸収していくことがより多くの人の助けになると思った。
3	引きこもり	県外在住の知人を訪ね、授業を受けに来たり、話をしに来たりする子どもがいる。横手市になくても周辺自治体などに公立学校にいけない子どもなどがいくような場所はないか。	・市役所にはこの話に特化した専門家はいないので、今勉強しながらやっているというのが実態である。 ・相手からの何らかのシグナルがないと我々も反応できない部分がある。今は一人でも救える方は救う努力をしていると思っている。引き続き勉強しながら、伴走型で進むしかない状況である。
4	不登校児	学校に行きたいけど行けない子が市内の中学校で1割程いるという話を聞いた。このままいくと若年層の1割くらいはそのまま引きこもりになってしまう。 教育関係者、PTA関係者、医療関係者、専門家を交えて参加型の懇談会などを開いてもよいと思うがいかがか。	ある程度お互い顔を出して話し合ってもよい方がいるのであれば、同じ境遇にある方と知り合うこともできるので、情報交換はありだと思う。 今対応している方々の状況も含めてご提案を検討の一つに加えさせていただく。
5	Ao-na	利用時間は何時から何時までか。	午前9時から午後10時まで。部屋によっては、9時に閉めてしまう部屋もあるがほとんどの部屋は10時まで明かりがついている。
6	女性が住みやすいまちづくり	若い人が地元で就職し、家庭を持てる給料がもらえる職場がないと女性は出て行ってしまうと思う。 女性がもっと活躍し、女性らしく生きられる社会にしたい、横手市に住んでよかったと思ってもらえるよう協力していただきたい。	女性の活躍を非常に意識しており、各企業にも女性の雇用の場の創出をお願いしている。 最近誘致をいただいている企業は男女関係なく、むしろ女性を率先して採用している企業もある。
7	よこてWARP	これまでは自分で空港まで行き、駐車場に車を置いて過ごしていたが、これはすごくありがたい事業なので必ずいつか利用させていただきたい。	（質問者の感想）

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	大雄交流研修館 ふれあいホール
日 時	令和6年7月2日（火） 18：30～20：48
参加者数	34名

No.	項目	内容	市長の発言
1	講話のタイトル	10年後、30年後あるいは50年後はまだ許容できるが、100年後は誰が検証することが出来るのか。タイトルとしてどうなのかなと思う。	奥羽新幹線の構想も50年以上前の昭和48年の発想で、未だにできていない。大事であると、やはりそれぐらいのスケールで見ないといけないし、明日明後日の生活となると、やはり明日明後日の未来ということを考えるべきで、どちらも両睨みで、大それたスローガンだったということでご指摘受け止めさせていただきたい。
2	保健・保育事業	横手市の高校生までの医療費無償化、一歳までの家事代行費の助成、第2子以降の保育料無償化、学童保育の充実、保育施設の医療ケア、予防接種のデジタル化などとても進んでおり、良い政策をされていると思う。	（質問者の感想）
3	給食費の無償化	県内でも取り組んでいるところはまだ少数であるので、ぜひ給食費の無償化に取り組んでいただきたいと思う。	いろいろチャレンジをして若干の支援をやらせていただいている。人口の少ない自治体であればあるほど無償化には踏み切りやすく、国からの一切の支援もなく市の財源でとなると、億単位の費用がかかってしまう。国にはしきりに提案をさせていただいているし、その思いは共有している。
4	新横手体育館周辺の道路整備	由利本荘市のナイスアリーナによく行くと、周辺道路が狭く通勤に非常に困難を極める人が沢山いるという実態もある。駐車場はもちろん、道路整備についても道路が2車線ずつはほしいと思っているのでお願いしたい。 プロスポーツなどを呼んだ場合、除雪状況も考えると、高速道路の乗降口の道路を広げないと高速道路までお客さんの列が続いてしまうのではないかと危惧している。	・ふるさと村周辺はかなりの車の量でもはけるような実績があり、相当な車の台数がきても各方面にうまく抜ける道がある。また、秋田市、由利本荘市より駐車スペースは確保できる地帯に存在しているので、ふるさと村と協議しながらグリーンスタジアムよこての近くの駐車場も利用させてもらうなど大丈夫な状態にしている。 ・該当の道路は完全に横手市道で、仮に工事をするとなると完全に横手市の財源ということになる。結構な金額になり、交付税措置が当てはまるような場所でもないため、自前の財源となると他の道路もやるべき場所が沢山あり、着手は難しい。問題個所で心配の場所ということは私の頭の中にもあるが、現段階ではそういう状況だとお伝えさせていただく。
5	他市町村の祭りと連携	祭りには静の祭りと動の祭りがあると思う。 他市町村の祭りとも連携して、一緒に合わさることで更に多くの人がくると思う。	過去男鹿市と協働でやらせていただいたことはある。良い発想だと思うし、我々にはない魅力というのも各文化のお祭りにはあるので、コラボをお願いするといった呼びかけはできると思う。 県南で一日観光をして宿泊して次の日となると他の地域と比較して劣ってしまう部分というのは現実としてある。やはりタッグを組んで、魅力を増大するというのは手だと思うので、何とか声掛けに乗っていただくといいところがあれば、仲良くやらせていただきたいと思う。
6	地元のPR	雪が珍しいと台湾、中国から来る方もいる。 ぜひ、東南アジア系の方々にもPRを進めていただきたい。	PRについては、もちろん関東圏だけでなく、台湾圏にも強くさせていただいている。例えば、今回のかまくらに合わせ、台湾の航空会社「タイガーエアー」がツアーを組んでくださり、多くの方に訪れていただいた。来訪者を喜ばせることを目的とし、市役所本庁舎前広場に飛行機の雪像を作り、タイガーエアーの看板を置かせていただいた。台湾便に乗って秋田に来る方々が横手に率先して来ていただくための狙いもあり、台湾のように南国の方々は日本人の何十倍何百倍も雪を喜んでくれるので、確実にターゲットとしては外せないと考えている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	大雄交流研修館 ふれあいホール
日 時	令和6年7月2日（火） 18：30～20：48
参加者数	34名

No.	項目	内容	市長の発言
7	ゆとりおん 大雄	3,000人の署名を集めたが（市による温泉再編改革を）止めることができなかった。何人集めれば止めれたのか。また、無くしていいという人は何人いたのか。 民間に譲渡するという方針があったが、その後の進捗状況を知りたい。 維持する方向でもう一度検討願いたい。	・ 6割の市民については、今後の横手市の温泉のゆくえについて了としている。署名について、例にふさわしいかは分からないが、過去の体育館建設の際には重複している方もいるかもしれないが、18,000人の署名があったが否決された。 ・ 2社の問い合わせがあったが、どちらも感触はよくない。 ・ 温泉について、市役所が全てを持つべき時代は終わったと捉えており、再編事業を進めている。 ・ 限られた財源の中で再編の決断はやらなければいけないし、全部やめたくないとなると倒産してしまう。持続可能な横手市であるために、嫌がられる決断をしなければならないのが、私自身の務めと思っている。
8	ゆとりおん 大雄	従業員にどのくらい赤字になっているのか、市で負担できていないのかと聞いても分からないという。 市外からも大学生の合宿や小中学生の合宿など宿泊施設の利用者が十分いる。体育館ができて、遠方から来る方が宿泊する施設があるので、現場の人にも経営について指導するなど、赤字幅を何とか圧縮する工夫が必要と思う。 時間帯によると思うが、大雄以外の人も沢山来ている。そのような実態を調べて、存続についてぜひ判断を願いたい。	・ 赤字を解消するには、入浴料金を一人2,000円以上いただいてこれまで通りご愛顧いただければ、何とかできるかという状態である。現状、赤字分は他の利用されていない市民の税金で補填されているということは紹介させていただきたい。 ・ 昨年の大雄で生まれたお子さんの数は6人で、この方たちがいずれ成長されたときに、支え切れるのかということと酷な状況が今の実態である。 ・ かつてよりお客様の入りは芳しくないが、多方面からお客様が来ているのも承知しており、料金の改定も工夫したが、こちらが値上げをすると安い方に皆様行ってしまう。温泉を何とかできないかと様々なアプローチを持って市なりにやってきたつもりである。 ・ 中には、法人税、固定資産税を支払って温泉を運営している民間の温泉事業者もあり、ある程度は税金で運営されている市と民間事業者ではフェアではない。このような立場の方々からも目を背けるわけにはいかず、いろいろな選択肢がある中でこの選択を提案し、進めさせていただいている。
9	県道野崎十 文字線の新 町バイパス 事業	県道野崎十文字線と交差する市道新町神社道線についても、新町バイパス事業と合わせて拡幅工事をしていただきたい。整備されることで、新町地域住民の利便性も良くなり、市道沿いに大雄保育園があるのでより安心安全な道路となる。	市長としての公約に野崎十文字線の新町バイパス、角間川堰改修というのは載せさせていただいている。いただいた意見について可能かどうかや、予算の部分などを調べながら検討させていただく。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	大雄交流研修館 ふれあいホール
日 時	令和6年7月2日（火） 18：30～20：48
参加者数	34名

No.	項目	内容	市長の発言
10	大雄堆肥センター	長年、悪臭に悩まされている。市のホームページを見ると基礎耐用年数令和3年、目標耐用年数令和11年と書かれているので、令和11年までに現在の施設を廃止していただき、山間部の市民に迷惑がかからない場所へ建設していただきたい。	日頃地域の皆様には悪臭によるご心労、苦痛をお願いしながら運営しているということは存じ上げており、忸怩たる思いである。 耐用年数についても存じているが、いきなり廃止するという無責任なこともできないので、引き続き低減に向けての努力は重ねながら、根本的なアプローチを検討しないといけないと思っている。
11	Ao-na	施設を利用する場合は立体駐車場に車を駐車することになるかと思うが、Ao-naを利用する方には延長が無料にしてほしい。秋田県営の図書館は駐車券を無料にする機械を設置しているので、横手市も検討いただきたい。	過去、不法に自分の駐車場かのように使用している方もおり、バーを設置して占拠してしまう人を解消するという狙いもありこのようにさせていただいている。 料金については、周辺駐車場では有料で駐車場経営をされている方もおり、行政だけ無料というのも中々辻褄が合わないという意見もある。まずは、2時間無料とさせていただいている。
12	かまくら	かまくら繋がりで、神奈川県鎌倉市と一緒にの事業を実現してほしい。	鎌倉市は、国内外から非常に多くの観光客が来る素晴らしい地なので、繋がりを持って横手市をPRできれば、多くの人の目に留まるだろうという思いはある。実際に鎌倉市長を横手市に招き、かまくらに入っていたいただいたこともある。 今、着実に発想の盛り上げを戦略的にできないか企んでいるところである。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	市役所雄物川庁舎 会議室
日 時	令和6年7月5日（金） 18：30～20：15
参加者数	35名

No.	項目	内容	市長の発言
1	よこて WARP	将来民間に委託する際に、300円で安くて便利というイメージがついた後だと民間は300円ではできないと思うので、料金のギャップが出てしまうのではないかと懸念する。	将来民間でやってくれるとなると、300円では難しいので、事業者に対して市が補助金で応援するというスタイルもできると思う。 まず、どのくらい乗ってくれるのかサンプルがないことには、民間事業者に提案もできないので、市で取り組んでいる。 また、市で300円以上いただくことは法律的に厳しいので、この値段でやらせていただいている。
2	若年女性が 求める企業	なぜ東京に出て行った若い女性が帰ってこないのか、意識調査をしたことはあるか。 意識調査をしたうえで、求められている企業を持つてくることはできるのか。	どちらかという女性は事務系の仕事を選ぶ傾向が強い。 横手市は製造業系、2次産業系の職場が多かったが、女性に選ばれやすい職場に意識的に来ていただいたり、製造業であってもかなりの比率で女性を採用している企業もある。 現存の会社も含め、女性を採用するよう促したり、活躍しやすい職場を引っ張ってきたりと、かなり意識してアプローチをさせていただいている。
3	産後ヘル パー制度	自分も産後ヘルパー制度を利用しており、周囲のお母さん方からも使ってよかったという声が多い。 制度を知っていても、どんな人がヘルパーに来るか不安、家に入れるのは嫌という意見があり、実際にどんな人が来るか、また、安全な制度であることを周知する必要もあると考える。	始めて間もない事業でどんな感触が分からなかったもので、生の声を聞けてよかった。不安な部分についても、どう改良できるかも含めバージョンアップのための材料に変えさせていただきたいと思う。
4	子供が遊べる 屋内施設	横手市は冬は雪、夏は猛暑で熊も出て、公園が使えないので、屋内で遊べる場所がほしいと考えている。 新しいものを作るのが難しい状況であれば、今ある公民館などの施設を開放していただき、ご高齢の方とも交流して地域の絆、コミュニティが広がっていけばよいと考える。	今は少子化が進み空き地や会館に行っても子どもがいないので、ゲームをするしかない。これは、地元に対して愛着が持てないので出ていったきり都会に行きついてしまうこともある。 ここに行けば誰か知ってる人がいるというポイントが各地域単位で必要だなと思っている。高齢者と子どもの交流の場なども考えれば想像力が膨らむし、何とか実現できるよう頑張りたい。
5	若者交際 応援事業	マッチングアプリなど、若者の意見を取り入れた制度をすぐ実行して下さることに皆さん評価し感謝していた。	（質問者の感想）
6	NS校	NS校は東北で仙台、山形の2件あり、全国で22,000人の生徒がいる。全国でも10件程しかないので、横手市でも誘致していただき、高校生を呼び寄せていただきたい。	存在は知っていたが気にはしていなかったもので、研究し効果がありそうであれば検討してまいりたい。
7	まちづくり	全部市役所に頼りきりではなく、自分たちで地元を面白くしていけないといけないと意識が変わってきたが、お祭りをしたり加工品を作ったりするときに、横手市全体としてだけではなく、雄物川庁舎の中にも相談に乗ってくれる職員がいてほしい。	役所に頼らないで、という崇高な思いはありがたい。役所は役所で条例、法律、制度に長けており、最新の情報・状況をお知らせできるという強みもあると思うので、使えるものは使っていただきたい。 崇高な理念と真面目さだけでは中々続かないので、みんなで楽しく前向きに良い方向に発展していけたらと思う。地元の地域局にも気兼ねなく相談いただければ、市で応援できる内容であれば繋ぐことは可能なので、ぜひいろいろ相談してほしい。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	市役所雄物川庁舎 会議室
日 時	令和6年7月5日（金） 18：30～20：15
参加者数	35名

No.	項目	内容	市長の発言
8	少子化	少子化がこのラインを下回ったらまずいという目安を提示していただきたい。少子化にネガティブな印象を持っている方に自治体からの見解を教えていただきたい。	・横手市のというよりも、世の中の社会保障全般が少子化を前提とした制度設計になっていない。付加価値×人口が経済のエネルギーであるので、人口が多いに越したことはない。 ・今のところは所得を増大させ、人を呼び込み、若い人たちにお子さんを産んでいただくことを期待する。子育てしやすい環境を作っていく、支えるということで、今は乗り越えさせていただく。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	山内地区交流センター ホール
日 時	令和6年7月9日（火） 18：30～20：22
参加者数	37名

No.	項目	内容	市長の発言
1	結婚出産 子育て	横手市の現在の姿は大変良く分析されていると感じたが、結婚出産子育てについては、少し足りないと思った。	子育て支援というアプローチはこれまでだいぶ古くから取り組んでいるが、少子化に歯止めがかからなかった。様々なご提案をいただいた中の一部を政策として展開させていただいているが、これをやれば間違いないという政策が私の中で開発されていない。 引き続き、チャレンジをして結果が出て、反応をいただいて、それを材料にまた次の取り組みというように歩んでいきたいと思う。
2	50年後100 年度の横手 市	市長自身が50年後100年後の横手市をどんな形で描いているのかが、講話の中から見えてこなかった。	農工商バランスのとれた田園都市というものは、100年以上前の理想の都市の在り方であるがなかなか田園都市になり得た都市はないと思う。横手市はこれを具現化できていると考えている。 ゆくゆくは新幹線も誘致したい、有力な企業を引っ張てきたい、地元が存在する企業が有力な企業に成長していただきたいと思っている。そして、農業はやはり生きる根源であり、環境を守る上で、景色を守る上で、文化を守る上で産業を守る上で、地域を守る上で大事だと思っているので、そういうバランスのとれた都市というものが横手だったらできると思い、頑張っている。
3	農工商	市長は、農工商をどのようにとらえているのか。	
4	鶴ヶ池荘	何社が説明会に来て、何社が応募しているのか途中経過でも構わないので教えてほしい。	消防法に違反している状態の建物になってしまい、設備が稼働するようにと予算を提案したが、議会で否決とされた。 率先して企業に紹介できる状態ではないが、相手がゼロ社というわけではない。 市では積極的に何とかしようと動いているということだけお伝えさせていただく。
5	小学校での 手指消毒の 授業	子から1時間使って4回もばい菌が無くなるまで、手洗いをする授業を受けたという話を聞いた。 コロナ禍からの流れで、本来手を守っている菌すらも排除するような過剰な感染対策・消毒が子供に身についてしまうのではないかと懸念する。 菌やウイルスは汚いものばかりでなく、共存共生していくべきと考えており、この話題について分かりやすく楽しく読める絵本を見つけたので、市内の学校に配布していただきたい。	私も普段無菌状態でいればいいのかといわれると、決して良くなく、逆に体が弱くなってしまうと思う。 いただいた本について、図書館でも購入しているかもしれないし、参考にさせていただく。 先生についても、無菌状態に全部排除というわけではなく、技術的な指導であったとは思いますが、一方通行な指導では正しくないというのは同感なので、再度調査させていただく。
6	熊に関する 教育	熊に遭遇すると命の危険もあり対策は必要だが、熊も森を守って農業にも影響を与えている大切な存在であることを、バランスよく教えていただきたいと思う。	熊も生息地域によって性格が違いうので、県北は凶暴だがこちらはそうでもない。襲われた家族や農家からすれば、恨めしく思うし、そうでない人は俯瞰して優しく見えるでしょうし、両者で見え方がいろいろあると感じた。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	山内地区交流センター ホール
日 時	令和6年7月9日（火） 18：30～20：22
参加者数	37名

No.	項目	内容	市長の発言
7	オーガニック給食	オーガニック給食が進んでいる市町村には、若い子連れの家族が移住して来るパターンは多い。全部とは言わないので、お米だけでも取り入れていただければ、横手市の全国での評判が良くなる可能性が上がると思うので、ぜひご検討いただきたい。	横手の米でみると自給率は1,500%位なので、横手市内だけであれば、不作でも自活できる。ただし、国でとなると自給率は40%を下回る状況なので、食料安全保証は死守すべきという考えである。 また、普段私達が食べている野菜の中にも品種改良がなされているものはある。 放射能ではなく放射線なので、普段我々も浴びている。
8	あきたこまちR	来年からあきたこまちRに全面的に切り替わるが、意識の高い方は秋田の米は買わないという情報が流れており、自分の子供にも放射線育種米という食べさせたくない。横手市が従来のあきたこまちを植えたい人を募り、その米を注文できるようになれば横手市がさらに光ってくると思うので、検討をお願いする。	
9	水道民営化	一度民営化すると公営に戻すことは難しいので、最後まで公営で残し続けてほしい。	水も食料と同等の安全保障であり、公営で水道事業を続けていくべきと考えている。ただし、経費はそっちのけというのはよくないので、民間感覚でしっかり安全な水を作り続ける努力を継続してまいりたい。
10	市長とのお話の機会	このようにママさん達が集まり市長とお話をしたい場合、お願いしてもよいのか。	町内会の総会でも案内をいただき、予定が空いていれば行ける。 ほぼ年中無休で動いているので、公務が無い時間であれば出席することは出来る。
11	ネオニコチノイド	水質の調査について、横手にはお酒どころが沢山あるが、ネオニコチノイドがお酒から検出されたとなると、横手の産業に大ダメージだと思うが、市長はどのように対応していくのか考えをお聞かせ願いたい。	本来は保健所が心配をするところではあるが、勉強させていただきたいと思う。 横手市は色彩選別機を使用し、斑点が出来ている米を識別している。黒い斑点が出来ているということは、カメムシが生きているという証拠なので、農薬を散布することになる。当市では、カメムシ発生時に農薬に含まれるネオニコ系の成分が水源にどの程度存在するかの水質検査を水道課で予定している。
12	北上線のPR	相野々駅から新幹線に乗りに行くには時刻表も出てこないの、何に乗ればいいのか分からないような状況。北上線があるということをもう少しPRしてもらえればと思う。	今年度で開通100周年を迎えるということで、賑賑しく北上線のPR、利用促進のためのイベントをさせていただきながら、なんとか使ってもらいたい。 時間帯の利便性や幅広い活用の仕方を含め、今後も何とか存続し、利用されるように努力を尽くしていきたい。
13	Ao-na	用事がありY2ぶらざを利用してもらっているが、Ao-naができて、図書館となると2時間では足りず半日はいると思う。2時間を超えた分の駐車料金は自己負担になると思うが、延長等はないのだろうか。	2時間までは無料でそれ以降は料金を取らせていただくという結論になった。 周辺には有料で駐車場経営をしている方も多く、また、無料にすると不法に何日も駐車をし続ける人も実際にいた。 入ってすぐに料金をいただくのも酷だなということで、まずは2時間無料とさせていただいている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター 交流ホール
日 時	令和6年7月22日（月） 18：30～20：30
参加者数	46名

No.	項目	内容	市長の発言
1	よこて WARP	（再質問） いつから始まるのか。 どこのタクシー会社でやるのか。	・秋田空港とつながっているのが羽田便しかない為、まず羽田便になると思う。 どんな方でも受け入れるが、空港から先の移動手段は自力でお願いする。 ・7/18から既に始まっている。 ・タクシー会社ではなく、市で運営している。
2	ビーガン料理	人間の食生活全般を変えていくような未来の為に学校給食をビーガン料理にしていく方向性ができたらいいと思う。	そのような完全菜食主義やその手前のオーガニック中心の生活とかそういう方々が、逆に自然なのかなと思うが、難しいと思う。 しっかり観測し、そのような動きもあるということは知っておきたいと思う。
3	十文字の体育館	B&Gの体育館を利用させていただいているが、他の地域にはホールもついて立派な体育館があるが、十文字にはB&Gしかない。（ホールはない） 過去の地震でも付近の建物が倒壊したことがないのだから、となりにある小学校の体育館を使用したらいいのではないかな。	地震は絶対くる。冬期間に積雪がある状態で地震がくれば建物に重大な被害が起こることはわかっていただけたと思う。 高校の統合がいずれされるという方針が県の教育委員会から出されようとしているが、この地も統合校が機能を発揮する候補の一つに含まれているため、町おこしをする取り組みを一旦休止している状況である。 旧十文字第二小学校跡をリニューアルし、体育館、卓球場をそのまま利用できるように改修を進めているのでそちらを利用していただきたい。
4	ゆとりおん大雄	ゆとりおん大雄は、高齢者の健康と交流の場として活躍する素晴らしい温泉であると思っている。旅館は高校生や大学生の合宿所としても使われている。村で唯一のレストランもあり十文字からわざわざ行く価値がある。 健康と交流に役立っているのに公共温泉から外そうとすることに納得がいかない。赤字だろうが健康の増進の為に残してもらいたいと切望する。	同様の意見は何百人もの皆様から直接伺っている。人口が減少している中で、赤字分は温泉を利用されない方の税金をもって補填されている。 温泉の質が素晴らしいことは存じているが、何かを生かして何かを我慢という選択しを迫られたときに、温泉の利用者も減っている中で法人税、固定資産税も払って民間で温泉を経営されている事業者もいる。沢山のご指摘をいただくというのは覚悟の上で、政治決断をさせていただいた。 現在、民間公募中で、引き受けて運営をしたい民間事業者がいれば明け渡しするが、現れなかった場合は廃止を決断せざるを得ないという方向で進んでいる。 思いには答えられない回答となるが、ご承知おきたい。
5	よこて市商工会	商工会をなぜ移動するのか。 （再質問） 商工会までのバスを出してほしい	・大変申し訳ないが、商工会は旧十文字第二小学校の場所へ移動する。 よこて市商工会の本部になる場所なので、本部に来ないと進まない内容については他地域からもここに来る必要がある。一人のための商工会、近所のための商工会ではないということをご承知いただきたい。 ・検討はさせていただくが、一人のためのバスは出せない。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	十文字地区交流センター 交流ホール
日 時	令和6年7月22日（月） 18：30～20：30
参加者数	46名

No.	項目	内容	市長の発言
6	温泉	横手市に温泉はあるか。 (再質問) 鶴ヶ池荘はないのか。	・ ゆっぷるや、ゆうゆうプラザ、さくら荘、雄川荘、ゆとりおん大雄などある。 ・ 鶴ヶ池荘は現在休止中であり、再開は検討中。
7	十文字地域	十文字地域のこと、地元のことを考えてほしい。という要望に対して	・ 十文字にお住まいの方は十文字の中だけで働いているわけではない。 横手市民が必要な一つの施設を作るとなった場合は、どこかに一つしか作れない。そうすると、施設から近所の人とそうでない人が生まれてしまう。その部分は申し訳ない。 ・ この十文字地区交流センターにも巨額な費用がかかっており、すぐ近くの国道も国に我々がしっかり要望して予算を引っ張ってきて立派な国道を作らせていただいている。利用しないので関係ないという方もいるかもしれないが、利用されている方の中には喜んでいる方もいるので、他の方にもご利用いただき喜んでいただければ嬉しい。
8	人口減少	大仙市や美郷町の方が十文字より人口減少率が少なかったが、合併前の十文字町は旧横手市より減少率が低い地域だった。合併を経て、この変化が起きている原因について、本日の講話だけでは出てこないと思った。自分なりに、横手市には多くの地域があるが、ここに住んでよかったと市民が希望をもてるような市政が大事ではないかと考える。	・ 私は本物の田園都市を理想として目指している。横手市は農工商バランスのとれた場所であり、環境は多岐に渡る。田園地帯は田園地帯なりの発展のさせ方があり、都市部には都市部の発展のさせ方、工業地帯には工業地帯なりの発展のさせ方がある。横手市は横手市という大きい括りの中で、多様な一つ一つの地域ごとに何とか魅力が際立つようなまち作りを描いていきたいと思っている。 ・ 中心市町地だけでなく、横手市全域で暮らしている農業を営む農家さんの所得も底上げすることで、どの地域においても豊かに暮らせると思っているので、決して中心部だけを見ているわけではなく、全体を見て私は考えさせていただいている。発信が足りていなかったという部分は反省させていただく。
9	多世代が交流できるまちづくり	十文字地域でいうと、民間の力が非常に強く、他市町村からの転入者がかなり多い。住環境にもう少し行政で力を入れていただき、多世代が交流できるような団地や施設、住宅、住居、そういったところを作ることによって、もっと人を呼び込んで人口も増えていくんじゃないかなと考える。 横手で子どもが増えることで、県南全体、秋田県全体にも良い影響を与えることができると思う。	多世代交流について、団地という話にはならないが、まさにその着眼点で再開発を描こうと思っている。 高校の統廃合の話もあり現状足踏みをしているが、方向性が明確になった暁には新たな町の顔、核というものを作りたいと思っている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	金沢孔城館 洋室Ⅰ
日 時	令和6年7月23日（火） 18：30～20：35
参加者数	28名

No.	項目	内容	市長の発言
1	高齢者表彰	高齢者表彰について、賞状ではなくお金でいただきたい。	過去、祝い金で対応していることはあったが、現在は著しい高齢化に伴い重い病気を患ってしまった方や、介護を受けながらでないと暮らすことが出来ない方々が沢山おり、困っている方々へのサービスに費用を使わせていただいている。100歳以上の方が100人以上いる横手市なので、何とかご理解いただきたい。
2	熊対策	熊が来てからというよりも、事前に動物と人間の棲み分けを行い対策をしてほしい。	中山間地域の山林における産業の振興は、自動的に野生動物の浸食を防ぐことになるので産業振興と中山間地域対策というプラスの面と合わせて、自動的に熊が近寄れないという状況が理想だと思う。 山林を経営資源に変える意識もしながら、熊対策に自動的に繋がるようなことも考えるべきと思っている。
3	バイパス事業	進捗状況を伺う。	現状計画段階から上に上がらず、予算が国からいただけてない状況である。 国道13号線の拡幅バイパス整備については、何度も国土交通省にお願いし当初よりはかなりよくなっている。そのために都市計画を変更したり、様々な計画段階ごとの大学の教授など、権威ある方々の審査をクリアしてこの段階まで来ている。 精一杯やらせていただくということは約束させていただきたいと思うし、絶対実現させようと思っているので頑張ってまいりたい。
4	公共施設での喫煙	公共施設ではたばこは吸えないと思っていたが、これは間違いか。 （再質問） 南庁舎の駐車場に喫煙場所があるが、一日中エアコンがついている。この分のお金は誰が払っていると思っているのだ。一般市民も使っているというのなら分かるが、使用しているのは職員ではないか。市民があそこではたばこを吸うという感覚はない。 （再質問） 休日にプレミアム商品券の引き換えて南庁舎に行ったが、その時も付いてなかった。職員用ではないのか。	・横手市の公共施設については、喫煙場所を指定しており、その中であれば喫煙をしていいことにしている。 ・私の政策として公共施設に喫煙所を設けさせていただいている。横手市のたばこ税の税収が7億円程で、たばこ農業という産業をなりわいとして存在してる方も横手市にはおり、また、エアコンを一年中回しても絶対に届かないので何とかご理解をいただきたい。 ・もちろん職員も利用しているが、職員以外の会議に参加される方も多く利用されている。納税義務を果たしている方に権利を与えているということである。 ・休日については配慮が足りていなかったと思う。次回休日に施設を使用する場合は管理の配慮もさせていただきたい。
5	後三年合戦金沢資料館	以前より資料館に来る方が増えており、県外から来る人もいる。生涯学習団体が資料を探しに来て、勉強して把握していくという状況もあった。	地域の交流センターがしっかり学びを掘り下げて、市内外に発信しているというのは理想形であり、他の交流センターについても参考にさせていただきたいと思う。金沢はいくらでも紹介する場所があるという強みを十分に活かしていただいて、横手の自慢の場所でもあるのでどんどん磨き上げ、掘り下げて引き続き協力いただければありがたい。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	金沢孔城館 洋室Ⅰ
日 時	令和6年7月23日（火） 18：30～20：35
参加者数	28名

No.	項目	内容	市長の発言
6	市政	市長は何を優先順位の一位としているかお聞きしたい。	私の優先順位の一番は経済である。我々が暮らせているのも経済あつてのことである。明日、明後日を生きるということも大事だが、今だけ良ければというよりも遠い将来の設計というのもイメージしつつ行政を進めていく必要があると考えている。
7	女性の働き場	22社誘致し、1,200人の雇用という話があったが、正規非正規の割合はどうか。また、男女非正規の割合はどうなっているか。 女性の中には、誘致工場で安い賃金で働き、結婚すれば子育てで仕事を辞めざるを得なくなりというところで、これが嫌で夢を描いて戻りたくないという人がいるのが若者の女性流出に関係があると考ええる。	横手市に来ていただいている企業につきましては、かなり女性の活躍ということを意識して採用活動を行っていた。企業の中には7割が女性で結婚しお子さんを産んでも離職率が1割以下という職場もある。これまで男性が主に行っていた仕事も機械化、オートメーション化、様々な省略化による仕事の革新を行っており、女性が進出して頑張れるという環境もできつつある状況にある。
8	農業のPR	横手市は農工商のバランスが良いという話があったが、これをもっとPRするべきと思う。 農業で儲けられる生き方や夢、魅力をPRや支援していけば流出していった方も横手市で一緒に頑張りたいという人が増えると思う。	・横手市ももっと稼げる農業という農業主体のスタイルに変えていかないと魅力ある職業に繋がらないと思っている。農業でしっかり家族も養える、憧れの職業にもなり得るという実現に向けて努力してまいりたいと思う。 ・横手市も同じくらい、あるいはそれ以上の様々な取り組みをやらせていただいているが、ニュースになっておらず、20個程取り組みを創出しないと取り上げられないので、そのような意味ではまだ横手市は足りていないと思う。
9	農家への支援	いぶりがっこは今どうなっているのか、これからどうなるのか。 大仙市では農家民泊・民宿のように観光と結びついた農家の支援もある。横手市はこの辺りどうなっているか。	
10	地域の特色を活かした予算運用	Ao-naや体育館でき、プロ観戦等で一過性の賑わいや経済効果はあると思うが、それだけで横手市に居続けたい、移住したいと思うのだろうか。それよりは、横手市といえば雪なので、雪下ろしや積雪に強い住宅だったり、スキーやそり遊びをできる場所であったり、そのようなところにお金をかけた方がいいのではないか。	横手市の地区ごとの多様性が露わになって、目に見える形で出てくることを期待しており、そのような動きになるように我々も応援していかないといけないと思っている。

令和6年度市政懇談会 記録

会 場	金沢孔城館 洋室Ⅰ
日 時	令和6年7月23日（火） 18：30～20：35
参加者数	28名

No.	項目	内容	市長の発言
11	若者の意見	若者は自分の将来のことを切実に考えているが、悩んだ中で、今あるものしか選択せざるを得ない状況となっている。しかし、若者の情報収集力は我々の比ではなく、目をひくようなアイデアなどもっと発信していきたいんだと思う。一人一人の想いに寄り添うような政策をされることで、素晴らしい魅力が生まれ、10年、50年と存続していくと思う。	田舎ならではの絆が存在しており、これはいざというときの強みになる。しかし、若者にしてみれば継承されてきた言い伝えや文化は厄介な存在で解き放たれるために都会に飛び立ちいろいろチャレンジするということもあると思う。ただし、自由にしすぎても発生したリスクについて全部自分で解消というわけにはいかない現実もある。取れる範囲の責任は自分で、地域に対して意見を言うということは非常に大事なことだと思う。 若者の発想というのは、今横手市が閉塞感をいだいている部分を打開する主役として十分存在感を示すと期待しているし、Ao-naについても中の設えのアイデアは高校生に出していただいた意見を行政図書館としてやるべき機能の中で大いに反映させていただいた。 夢を抱いている若い方々の取り組みやチャレンジは元々横手市にお住まいになっている若者、高齢者にも希望を与えるものと思い、喜ばしく拝見させていただいている。